

基幹労連シニアクラブ・ニュース

基幹労連退職者の会事務局

2016/02/26

第 25 号

退職者連合・政策要求実現院内集会を開催(2/17)

～生活できる公的年金制度を守り抜こう！～

退職者連合は、2月17日(水)午前10時から参議院議員会館1階講堂で「第190通常国会政策要求実現2・17院内集会」を開きました。集会には、産別・関連退職者連合と全国の地方退職者連合、本部役員など約300名が参加。さながら選挙闘争勝利に向けた総決起集会となりました。基幹労連シニアクラブからは代表4名が参加しました。

集会の冒頭、主催者代表あいさつに立った阿部保吉会長は「政策要求の集会だが、衆議院北海道5区と京都3区の補欠選挙、7月の参議院選挙の勝利に向けた総決起集会だ。全国の皆さんとともに頑張っていきたい」と決意を表明。政策要求については、「労働法制の改悪と社会保障費の伸びの抑制に反対する。企業は減税、



庶民は増税許さない。医療・介護サービスの低下、負担増にストップをかけよう。生活できる公的年金制度を守りぬこう」と、訴えました。

とどろき利治氏が紹介・激励される

集会では、退職者連合が推薦を決めた参議院比例での連合推薦候補者の紹介があり、基幹労連のとどろき利治氏が激励されました。

退職者連合のホームページをご覧ください

退職者連合のホームページに、政策要求実現活動をはじめとする活動が紹介されていますのでご覧ください。

昨年秋の連合・ILEC主催、第9回幸せさがし文化展で入賞された基幹労連OB、三ツ石不二夫さん(川崎重工坂出OB会)の喜びの声も掲載されています。

(アドレス) <http://tr.ituc-rengo.jp>



日本退職者連合2・17集会アピール（抜粋）

安倍政権は、参議院選挙を前にして「3万円の低年金者給付金」に象徴される露骨で底の浅い選挙対策の人気取り策を前面に出し、本音である社会保障抑制を水面下で準備しています。

昨年、第189国会で、憲法学者などから憲法違反だと指摘された安全保障関連法制を強行しました。そして今また、参議院選挙を前にした愛想笑い、選挙後の無慈悲な社会保障抑制と憲法改正への暴走という、国民を愚弄視する振る舞いを重ねようとしています。

日本退職者連合は、誰もが安心して暮らせる社会づくりに向けて、社会保障機能強化の要求を堅持し、目先のごまかしや人気取り、国民生活を破壊する制度改悪を許さない取り組みを粘り強く進めていきます。そのために、安倍強権政治による「その日暮らし・気分勝負の経済政策」「市民生活を企業と投資家に差し出す政治」を絶対に許してはなりません。

参議院選挙・国政選挙に向けた闘いはすでに始まっています。連合と心をつにし、連合の組織内候補はもとより推薦候補の完勝をめざして力の限りを尽くそうではありませんか。

（日本退職者連合・政策要求実現2.17院内集会）

がんばれ現役！ 春季生活闘争が始まりました

2月9日（火）都内において基幹労連第13回中央委員会が開催され、AP16春季取り組み方針が決定され、構成組合はそれぞれ要求書を提出、取り組みが本格化しています。

賃金改善要求は16・17年度の中で2年分8,000円を基準とし、条件が整う組合は格差改善に取り組むとしています。わが国経済の先行きが不透明な中、各社の収益に関しては、新聞報道等で見ると相当厳しいところもあるだけに、各組織一丸となって取り組みを進め、組合員の期待に応える成果を収めてほしいと思います。

～OBからも現役に働きかけを～

政策実現活動の取り組みに関する中間報告

中央委員会では、政策実現活動の取り組みに関する中間報告も行われました。シニアクラブとの連携についても報告されていましたが、全体としては支援者カードの集約が当初目標通りに進んでおらず、「未だ本番に向けたスタートラインに立てていない状況」にあり、今一度取り組みの原点に立ち戻って構成組織が一体となって「やりきる」ことを課題として確認していました。

各県本部および構成組織の退職者の会やOBの皆様にも、それぞれ現役からの働きかけがあると思いますが、もし働きかけがなければ働きかけるように声かけをお願いします。

中央委員会の場でとどろき利治氏は「残り5か月、全力で頑張り抜く」と力強い決意を表明していました。



組織拡大をめざす 福岡県本部退職者の会総会(2/17)

福岡県本部退職者の会は2月17日(水)、北九州市で第2回総会を開催しました。

本総会では、会員や県本部三役など25名が出席し、組織拡大や今夏の参議院選挙における「とどろき利治」の必勝に向けた支援など、基幹労連退職者の会の方針に沿った活動を推進していくことを確認しました。

とりわけ組織拡大については、県本部役員経験者で構成している現行の体制に加えて、県本部構成組織の役員経験者OBの入会を当面の目標として、各組織(現役)の協力を得ながら推進していくこととしました。



当面する課題について意見交換 シニアクラブ幹事連絡会を開催(2/25)

2月25日、基幹労連会議室においてシニアクラブ幹事連絡会を開催しました。会議では、「各県本部退職者の会の運営充実と組織拡大」について、3月から開催する「地方ブロック連絡会の内容と運営」「基幹労連の政策実現活動の取り組みに対する今後の支援のあり方」を中心に意見交換しました。

地方ブロック懇談会(第2弾)を3~5月に全国で開催します

(1) 目的

昨年、基幹労連退職者の会と県本部退職者の会とのブロック懇談会を開催し、それぞれの県本部退職者の会活動状況の確認や各役員との意見交換、基幹労連が取り組む政策実現活動への参画の対応について意思疎通が図ることができました。今後さらに、基幹労連退職者の会と県本部退職者の会がともに連携を深め、地域における退職者の会組織運営の充実・強化を図るために地方ブロック懇談会(第2弾)を開催します。また、基幹労連が取り組む政策実現の取り組みと連携し、オール基幹労連の一員として協力を要請していきます。

(2) 開催要領

地域での繋がりを考慮し、複数県本部合同での開催とする。

- 1) 開催時期 2016年3月~5月末を基本とする。
- 2) 開催場所 利便性や集合性に即した開催場所
- 3) 開催時間 2時間程度
- 4) 参加対象 各県本部退職者の会役員(2名程度)
基幹労連退職者の会役員(2名程度)
- 5) 内容 ①基幹労連退職者の会の取り組み報告(中央・各県本部)

②政策実現の取り組み状況について

③意見交換会

6) 取り扱い 費用については、前回と同様の考え方とする。

(3) 開催ブロック割の考え方について

開催地域（ブロック）については、現行の基幹労連地方組織地域割りを基本に開催日時・場所を調整する（前回開催のブロック割で懇談会を実施する）

幹の会第4回総会が姫路市で開催されます（4/10・11）

基幹労連シニアクラブの構成組織で、基幹労連本部役職員経験者と総合諮問会議経験者による「幹の会」の第4回総会が、4月10日（日）・11（月）に兵庫県姫路市で開催されます。

幹の会会員は現在91名です。今年度の活動計画では、基幹労連各県本部の退職者組織の拡大と活動の充実に向けて協力するとともに、とりわけ7月の参議院議員選挙に向けた「基幹労連組織内候補者・とどろき利治」氏の支援活動に協力する方針を掲げています。

会員が所属する各構成組織には、総会の成功に向けて、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



政策実現・とどろき支援活動 地域からの便り(2)

大阪府本部退職者の会 全会員に支援の要請文を配信

基幹大阪退職者の会（通称：基幹大阪シニアクラブ）は、平成20年4月4日（金）に「基幹労連大阪府本部OB会」として結成総会を行い、鉄鋼・造船重機・非鉄金属の大阪に集う組合の役員OB総勢141名にて結成されました。

1年間の主な活動としては、4月に総会を行い、6月・9月・12月・2月に年4回の幹事会にて連合大阪高退会（現大阪退連）の諸活動への対応や基幹労連としての現役との連携などについて議論を行っています。特に平成21年11月には、連合大阪高退会の副会長として当時の原田会長、幹事に林副会長が就任し、諸活動に積極的に参加してきました。また、平成24年11月からは、現林会長が連合大阪高退会の事務局長に就任し、実務の要として活躍しています。



大阪府本部OB会の模様 昨年からの講演会を実施

総会について、結成以来、総会と懇親会の2部構成で行ってきました。ここが唯一会員の皆さんが顔を合わせる場になっています。しかしながら、退職者の会の組織拡大を検討するにあたり、会員から年会費を頂いていることも踏まえ、入会にあたって会員としてのメリット享受の観点から、昨年より総会を3部構成にし、第2部に講演会を開催するなど、工夫を行っています。また会員への情報発信として、春と秋の年2回全会員向けに、そのタイミングで発行されている本部のシニアクラブニュースや大阪退連の情報などを発信することとしています。

とりわけ、昨年の秋には、シニアクラブとしてのとどろき利治支援の観点から、林会長名で全会員に支援者になっていただくべく要請文も同封し、ご家族を紹介していただく取り組みも展開しています。

いずれにしても、今年4月の総会では、改めて「とどろき利治支援」を方針に織り込むことはもちろんのこと、その他諸活動にも凝らしながら会員の皆さんとコミュニケーションが取れる諸活動を展開していきます。



富山県本部退職者の会 とどろき氏を帯同しての家族作戦を展開

富山県本部退職者の会は一昨年の9月に四つの構成組織で設立し、昨年9月に第2回総会を開催し



ました。残念ながら一つの構成組織が解散されましたが「生き活きと安心して暮らせる社会の実現」を目指して上部団体の連合退職者の会のパークゴルフ大会や会議などの諸行事に参画して日々活動しています。

また、政策実現の取組みで「とどろき利治氏」来県時には、「日本高周波鋼業退職者の会」主催の研修

会を開催し「日重化高齢協」からも参加を募り、「とどろき利治氏」との意見交換を行いました。その前段には「とどろき利治氏」も帯同しての家庭作戦なども行いました。

今後は独自の家庭作戦と電話作戦を通じて会員の支持・支援の輪の拡大に努めてまいります。

(富山県本部退職者の会事務局長 荒木俊一)



とどろき利治氏を迎えての講演会